

平成25年10月29日

佐賀新聞掲載～ひびの子育て～

園長子育てコラムVOL.6「子どもの時からプラス言葉を習慣に」

ひび子育て

## 子どもの時から プラス言葉を習慣に

どの親御さんもわが子には困難を乗り越える力を身につけて欲しいと願うものです。私はそのためには、「プラス言葉の習慣」が大切だと思っています。

例えば、みなさんの前に水が半分入っているペットボトルがあるとします。それを「半分しか残っていない」とマイナスに捉えるか、それと

も「半分も残っている」とプラスに捉えるかでは大きな違いがあります。

私たちの身の回りに起きる出来事は、自分の心の持ちよう、捉え方ひとつで、幸せにも、不幸にもなりうるということです。

子どもの頃に親から学んだ習慣は、その人の価値観となりずっと心の中に残っていくものです。

親の「言葉がけ」ひとつで、子どもたちがこれから出会うさまざま大変な状況に対し、どのように対処

していくかどうかに影響していきます。

「大変」という言葉も、プラス言葉にすると「大きく変化するとき」とも読み取れます。つまり、大変なときというのは、自分自身が大きく成長しているときなんです。困難もチャンスに変えられるのです。

プラスに考える力は、ある日突然に身に付くものではありません。子どものときからプラス言葉を習慣にすることで、困難な状況をプラスに

転換できる力が身についていくのではないのでしょうか。

わが子が、元気で、楽しく、前向きに、笑顔が多い人生を送ってくれるよう、まずは1番身近な大人の私たちが、たくさんのプラス言葉をプレゼントしてあげたいですね。

(パパ記者・吉村直記＝おへそ保育園園長)

※過去記事は佐賀のブログハブサイト「saganPOST (サガンポスト、post.saga-s.co.jp)」に掲載。